

## 酪農経営形態が生乳の品質に及ぼす影響

### -中国内蒙古赤峰市の酪農を事例に-

共生基盤学専攻 共生農業資源経済学講座 開発経済学 侯栄

#### 1. 問題の所在

牛乳の生産プロセスの第一ステップとして、生乳の生産は最も重要である。良質な生乳を安定的に生産できることが、最終製品である牛乳の安全性の確保や安定供給のためには不可欠だからである。

近年、中国の牛乳市場は急速に発展しており、乳業部門は農畜産業部門の中でも重要な地位を占めるようになってきた。しかし、多くの酪農家は零細であり、そこで生産される生乳は量・質ともに不安定であり、食品安全性の点でも懸念が残されている。これらの問題は、中国における乳業部門の発展にとってボトルネックとなっている。

#### 2. 課題

本論文では、中国内蒙古赤峰市オンニョド旗の広宇牧場に所属している酪農家とその近隣である東道村で経営している零細酪農家を事例として、乳牛の飼養方法等を調査・比較し、経営形態の違いが生乳の品質に与える影響を解明する。

#### 3. 結果

広宇牧場の酪農家は、乳牛の飼養方法、飼料の確保および生乳の検査方法の3点について、零細酪農家より優れた対応を行っていた。牧場には消毒室が設置され、外から場内に人が入る前には、必ず消毒を行っていた。専用の運動場を設けて、牛に適切な運動の機会を与えることで、生乳の生産量の増大や繁殖能力の維持・向上を図っている。牛舎のデザインも乳牛の過しやすさを考えて設計されている。飼料については、乳業企業である伊利会社が認めている飼料を統一的に利用する一方、生産のピーク期には栄養価の高い飼料を与えている。生乳の検査方法については、搾乳する前に検査を行い、それをパスした乳牛のみ搾乳を認めている。薬を使用する場合にもルールがあり、畜牧局の認証を得た薬のみ使用し、投薬後10日間に搾乳した生乳を出荷できない。搾乳室の衛生状態を保つ為に毎日清掃等を行っていた。さらに、先進的な生乳貯蔵設備を整備し、一定の温度を保つことが出来るようになっていた。一方、零細酪農家は資金に制限があり、先進的な機材を整備することができない。牛の飼養環境にはあまり関心がない。飼料も市場で購入しており、高い品質の飼料の確保が困難な状況にある。搾乳前の安全性の検査も行われていない。高品質な生乳を生産しても、買い取り価格が品質によって決まっていなかったため、高品質の生乳を生産するインセンティブが乏しい。これらの違いによって、生乳の品質に違いが生じている。

#### 4. 結論

中国の酪農経営の多数を占める零細酪農家の飼養方法を改善することが、生乳の生産過程の改善には不可欠である。しかし、零細酪農家が自らの力で改善を進めることは難しい。広宇牧場のように、酪農家側が組織的にまとまり、それに対して大手乳業企業が技術的な支援を行うなどの協力体制の構築が不可欠である。